

おかちまち
たいとう

台東区立御徒町台東中学校 学校だより 第8号

令和7年12月18日

校長 福沢 俊之

TEL 03 (3831) 3787

学校ホームページ

12月



<https://www.taito.ed.jp/1320111>

↑更新中

誰もが安心して過ごせる学校、まちづくり

校長 福沢 俊之

先月、29日、道徳授業地区公開講座の全校道徳の講演会で、「多文化共生 地域日本語教育コーディネーター」として地元で活動されている山藤弘子（やまふじ ひろこ）先生からお話を伺いました。みなさんが書いたお礼の手紙を読ませてもらいましたが、多くの生徒が、二つの意味での「やさしい日本語」（易しい・優しい）、そしてミャンマー語での算数の授業について書いていました。算数の計算の答えはわかるけれど、先生が何を言っているのか、先生から何を聞かれているのか、全く分からない。もちろん私も同じでした。その時の気持ちを「今まであまり経験をしたことのない感情」と表現していた人もいました。日頃、当たり前のように会話をしている私たちが味わったことのないその気持ちを、日本語がわからない外国ルーツの生徒は毎日味わっているのだ、と実感したことは、「他者を思いやる心」の種が一つ蒔かれたことになる、みなさんの手紙を読んで明るい気持ちになりました。また、「日本語以外にも、もう一つ言語を学びたい！！」と思いました。」という一文もありました。思いだけでなく行動が変わるとしたら、それは素晴らしいことです。

講演会の後、山藤先生にもご参加いただき、保護者の方々と協議会を行いました。その中で、国籍やさまざまな文化的背景を超えて、多様性を認め合い、誰もが暮らしやすいまち、社会の創り手を育てるためには、「こうした方がいい。」「こうしたこともできる。」だけではなく、「こうしたことはいけない。」「こういうことは言っていない。」などの、「してはならないこと」を教えていくことも必要ではないか、という意見をいただきました。安心して過ごすことのできる学校にするためには、人を不安にさせること、すなわち「してはならないこと」を徹底することも大切だと考えます。社会問題に視点を転じると、私は、「ヘイトスピーチ」を思い起こします。「ヘイトスピーチ」は、内閣府や法務省をはじめ人権課題に関連するホームページで取り上げられていますが、特定の属性をもつ個人や集団に対する「差別的」「軽蔑的」な表現や言動を指すと示されています。対象となった相手だけでなくそれを聞いた人々にも、不安感や嫌悪感を与えるという点において言葉の暴力であり、何よりも「人としての尊厳を傷つける」ことになります。社会で生きていく上で最も大切なことは、誰もが同じ「人」であることを忘れないことだと私は思います。その上で、「違い」や「立場」を理解し認めていくことが求められ、意味を持つようになるのでしょう。その「違いを理解する」ために、歴史や文化はもちろん、さまざまなことを勉強するのだと思っています。

12月8日（月）の朝礼において、生徒に上記のような講話をした後、日を改めての各学年の学年朝礼で暴力に関する調査を実施しました。「『人』としての尊厳を尊重する」ことにかかわって、生徒が安心して過ごすことのできる学校をつくるために行いました。各御家庭におきまして、お子様の声に耳を傾けたり、学校生活における出来事などについて話し合う機会をもったりするとともに、人を大切にすることや暴力は許されないことについて御確認の上、何かお子様について心配なことがあれば、いつでも、どのようなことでも学校に御相談くださるよう改めてお願いいたします。

2学期の表彰生徒

令和7年度 薬物乱用防止啓発ポスター・標語

【ポスターの部】

台東地区協議会優秀賞 2年1組

【標語の部】

台東地区協議会特別賞 1年3組

1年3組

「いらないと 強い心で 断って 自分を守れ 薬物乱用」

「やりません その一言が 照らす道」

令和7年度 税の標語

東京都台東都税事務所長賞 3年2組

上野間税会 会長賞 2年4組

上野間税会 優秀賞 2年3組

「収めよう税金 咲かせよう笑顔の花」

「生活の安心安全守るのは 税という名のセキュリティ」

「一人一人 しっかり収めて 明るい社会」

令和7年度 中学生の税についての作文

東京納税貯蓄組合総連合会 会長賞 3年2組

上野納税貯蓄組合連合会 優秀賞 3年2組

令和7年度 台東区環境ポスター・標語コンクール（環境ポスター部門）

優秀賞 2年2組

1年3組

令和7年度 第44回台東区善行青少年表彰

防火 2年1組

2年2組

2年4組

2年4組

第23回 ボランティア共和国弁論大会

最優秀賞 3年1組

優秀賞 2年2組

特別賞 1年3組

「小さいようで大きい一歩」

「区長と語った経験から」

「心もきれいにするそうじ」

台東区POPコンテスト2025

奨励賞 2年2組

2年4組

本校生徒の提案が「広報たいとう」に採用されました！

令和7年度「中学生と区長との語る会」が10月5日に開催され、台東区内の区立中学校から代表生徒が参加しました。

今回のテーマは「こんな未来になってほしい！私が考える未来の台東区」で、本校からは2年2組さんが参加し発表を行いました。

さんは「災害に強い台東区になってほしい。」という内容で、『広報たいとう』に小さいコラムのように災害に対しての備えについて掲載してみたり、子どもたちにも遊び感覚で災害の恐ろしさや備えについて考えることのできるオリジナル災害対策ノートやクイズなど、気軽に且つ簡単に災害と備えについて考え、学ぶことで災害に対する備えの意識が高まるのではないかと提案しました。

この提案が採用され、11月20日発行「広報たいとう」の3面下部に、防災クイズコーナーとして掲載されています。ぜひ皆様もご覧ください。